

15 白内障手術クリニカルパスの現状評価～看護師の意識調査を通して～

看護部 4階病棟 田口華恵 渡嶋真由美 多田由美子

<はじめに>

当院では、指示を一本化することで安全かつスムーズな医療サービスの提供を目的に、2010年1月から白内障手術クリニカルパスが導入された。当院で使用しているクリニカルパスは白内障のみであり、使用経験のある看護師は多くないことから、十分に周知されていない可能性がある。そこでクリニカルパス検討委員会前の一時調査として医療・看護の質、効率、教育、協働について現状評価を行った。

<研究目的・方法>

看護師の意識調査を通して白内障手術クリニカルパスの現状評価を行い、課題を明らかにする。白内障手術クリニカルパスを使用している病棟の看護師17名に、2012年8月から9月末にかけて無記名自記式質問紙調査を行った。質問は対象者野属性及びクリニカルパスに期待される4つのカテゴリーで16項目からなる調査用紙を用いて行った。質問の回答をリッカートスケールで以下のように選択肢を置き、配点した。4点：思う 3点：やや思う 2点：あまり思わない 1点：思わない 0点：どちらともいえない。分析方法はクリニカルパスを使用経験年数を1年以上1年未満の2群に分け、質問16項目について、中央値の差の検定(Mann-WhitneyのU検定)を行った。統計処理はエクセルを使用した。

<結果>

対象者17名の回答を得た。看護師経験年数では10年以上が64.7%、ついで5～10年未満が17.6%であった。当院でのクリニカルパス使用経験年数では1年以上が12名(70.6%)1年未満5名(29.4%)であった。【医療・看護の質】は、前質問項目で中央値が3点を上回った。【効率性】は、「予定された入院日数で退院できる」の項目で、中央値が2点と低い値であった。【教育】は、全質問項目で中央値が3点を下回った。そして検定結果から質問16項目全てにおいてクリニカルパス経験1年以上と1年未満の2群に差はなかった。

<考察>

結果からクリニカルパス使用経験年数による差はなかったが、中央値、平均値をみると、【医療・看護の質】【教育】では、各項目で中央値が3点を上回っており、クリニカルパスに高く評価されていると考える。特にケアや入院中の流れは、わかりやすくなっていることが分かった。しかし、【効率性】では、「予定された入院日数で退院ができる」という項目で、クリニカルパス経験年数1年以上及び1年未満において中央値が2点と低い値になっていた。これは当院がリハビリテーション病院であり、何らかの障害や合併症を持ち通院に介助を要する患者などが、術後の経過に関係なく患者・家族の都合により入院期間が延長するケースがあり、課題として考えられた。【協働】については医師指示の記入もれがあり、看護師が指示を確認しなければならず、他部門との連携が充実しているとは言えない現状があり、課題と考えられた。

<結論>

1. 医療・看護の質及び教育ではクリニカルパスの評価が高かった。
2. 効率性及び協働には質問項目別にクリニカルパスの評価が低く、課題として残る。

表1 対象者の属性 n=17

	n	%
年齢		
20歳代	1	5.8
30歳代	8	47.0
40歳代	6	35.2
50歳代	1	5.8
無回答	1	5.8
当院での白内障手術クリニカルパス経験年数		
1年未満	5	29.4
1年以上	12	70.6

注) 2010年11月に改訂された白内障手術クリニカルパスを使用している看護師は最長でもまだ1年7ヶ月であるため、白内障手術クリニカルパス経験年数を1年未満と1年以上で比較した。(2012年9月現在)

表2 クリニカルパスに期待される効果のカテゴリ別中央値

質問項目	パス1年以 n=12	パス1年未 n=5
	Me(Mean±SD)	Me(Mean±SD)
【医療・看護の質】		
1) 看護行為の実施記録が分かりやすい	3(3.3±0.7)	4(3.4±0.9)
2) 看護の統一化がされている	3(3.0±1.0)	3(3.2±0.8)
3) 医療の標準化がされている	3(3.2±0.6)	3(3.4±0.5)
4) アウトカム(成果)はわかりやすい	3(3.1±1.0)	3(3.2±0.8)
【効率性】		
5) 予定された入院日数で退院できる	2(1.8±0.9)	2(2.0±0.7)
6) ケア・検査がわかりやすい	3(2.7±1.2)	3(2.8±1.6)
7) 看護記録時間が短縮されている	3.5(3.4±0.7)	4(3.6±0.5)
8) 申し送り時間が短縮されている	3(2.5±0.9)	4(2.8±1.8)
【教育】		
9) クリニカルパス自体に関する知識は向上している	3(2.8±1.1)	3(3.0±0)
10) 入院中どの時期にどんなケアが行われるかわかりやすい	3.5(3.5±0.5)	3(3.4±0.5)
11) 入院中の流れはわかりやすい	4(3.6±0.5)	4(3.6±0.5)
12) 看護師の患者教育の手段としてわかりやすい	4(3.5±0.7)	3(3.2±0.4)
【協働】		
13) 医師指示はわかりやすい	2(2.5±0.7)	3(2.6±1.5)
14) 薬剤師の指示項目はわかりやすい	3(3.0±1.0)	3(2.4±1.5)
15) 内服・点眼薬の使用方法はわかりやすい	3(3.2±0.8)	3(2.8±1.6)
16) 委員会による話し合いはクリニカルパスの質の向上に繋がっている	3(2.8±1.4)	3(3.2±0.4)

注) Me は中央値(Mean±SD)は参考値 n は回答者数

Mann-Whitney の U 検定 両側(P<0.05 P<0.01) 1)から 16) すべて有意な差はない